

シナリオの内容

【概要版】

2007年2月24日

なごや循環型社会・しみん提案会議 実行委員会
循環システム分析グループ



各シナリオの特徴

- 4つのシナリオ案（A～D）は、「行政の役割大」／「市民・事業者の役割大」、「ごみ+資源の総量を減らす」／「ごみの量を減らす」という基本的な考え方の組み合わせによって、以下のように特徴付けられています。

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	<p>シナリオA・B 共通の特徴</p> <p>モノが不要になる前の段階での「発生抑制」に重きを置いた、 不要なモノ（ごみ・資源）そのものが少ない 「3R」中心の循環型社会</p> <p>シナリオB</p>	<p>シナリオA</p>
ごみの量を 減らす	<p>シナリオB・C 共通の特徴</p> <p>ごみ処理・リサイクルともに、行政主体の施策展開が基本となる循環型社会</p> <p>シナリオC</p>	<p>シナリオA・D 共通の特徴</p> <p>ごみ処理は行政、リサイクルは民間（市民・事業者）が基本となる循環型社会</p> <p>シナリオD</p>
	<p>シナリオC・D 共通の特徴</p> <p>モノが不要となった後の段階での資源化に重きを置いた、 「リサイクル」中心の循環型社会</p>	



各シナリオの取組のまとめ

● 4つのシナリオ案（A～D）における取組をまとめると、以下のようになります。

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	発生抑制 環境に配慮した生産・販売、簡易包装、適量購入	
	レジ袋 使用禁止・有料化を義務付け	使用自粛・有料化等を自主的に展開
	飲料容器 リターナブル容器を義務付け 行政が収集・リユース	自主的にリターナブル容器へ統一 事業者が回収・リユース
	プラ製品 行政が収集・リサイクル	事業者が回収・リサイクル
	生ごみ 行政が収集・リサイクル	家庭や地域で自主的にリサイクル
ごみの量を 減らす	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">シナリオB</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">税金で リサイクル</p> <p>ごみも資源も 市が収集して、 処理・リサイク ル (費用は税金 で対応)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ごみ…有料 資源…有料 (ごみの方が高い)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ごみ…有料また は無料(分別指導 強化) 資源…無料</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">シナリオA</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ごみ…有料 資源…購入時に リサイクル費用 を負担</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">事業者負担 でリサイクル (EPR)</p> <p>ごみは市が処 理、資源は市 民・事業者がリ サイクル (費用は商品 価格に上乗せ)</p> </div> </div> </div>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">シナリオC</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>プラ製品 行政が収集・焼却処理</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>飲料容器 現在の容器のまま 行政が収集・リサイクル</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生ごみ 行政が収集・リサイクル</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">シナリオD</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>事業者が収集・リサイクル</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>現在の容器のまま 民間主導で収集・リサイクル</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>家庭や地域で自主的にリサイクル</p> </div> </div> </div>	



「生ごみ対策」からみるシナリオ間の違い

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	シナリオB <ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者に対して、「ばら売り・量り売り」を義務付け ●行政による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者は生ごみを分別排出・リサイクル料金の支払い 	シナリオA <ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・販売店と市民の協力による自主的な取組（ばら売り・購入の協定等） ●市民・事業者によるリサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機、地域で堆肥化、民間資源化業者の活用等でリサイクル
ごみの量を 減らす	シナリオC <ul style="list-style-type: none"> ●行政による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを分別収集・リサイクル ・市民の生ごみは無料で収集 ・事業者はリサイクル料金を支払い 	シナリオD <ul style="list-style-type: none"> ●市民・事業者によるリサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機、地域での堆肥化、民間の堆肥化業者の活用等でリサイクル



「レジ袋」からみるシナリオ間の違い

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	シナリオB <ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者に「使用禁止」「有料販売」等を義務付け ●行政による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスチック製容器包装」として分別収集・リサイクル ・市民・事業者は分別排出し、収集等にかかる料金を行政に支払い 	シナリオA <ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・販売店と市民の協力による自主的な取組（使用自粛の協定等） ●事業者による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスチック容器包装」として分別収集・リサイクル ・有料販売の場合、リサイクル費用を価格に上乗せして販売
ごみの量を 減らす	シナリオC <ul style="list-style-type: none"> ●行政による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスチック製容器包装」として分別収集・リサイクル ・市民の「プラスチック容器包装」は無料で収集（税金負担） 	シナリオD <ul style="list-style-type: none"> ●事業者による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・生産・販売事業者はリサイクル費用をレジ袋価格に上乗せして販売 ・「プラスチック容器包装」として分別収集・リサイクル



「プラスチック製品（容器包装以外）」からみるシナリオ間の違い

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	<p>シナリオB</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者に「環境に配慮した生産・販売」を義務付け ●行政による分別収集・リサイクル（有料） <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスチック製品」として分別収集・リサイクル ・市民・事業者はプラスチック製品を分別排出・リサイクル料金支払い 	<p>シナリオA</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・市民と事業者の協力による自発的な取り組み ●事業者による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・生産・販売事業者は、リサイクル費用を製品価格に上乗せして販売 ・「プラスチック製品」として収集・リサイクル
ごみの量を 減らす	<p>シナリオC</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政による焼却処理・エネルギー収集 <ul style="list-style-type: none"> ・「可燃ごみ」として収集・焼却処理（エネルギー回収） <p>※<u>ごみを有料とするかどうかは、別途協議します。</u>（7頁参照）</p>	<p>シナリオD</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業者による分別収集・リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・生産・販売事業者は、リサイクル費用を製品価格に上乗せして販売 ・「プラスチック製品」として収集・リサイクル



「飲料容器」からみるシナリオ間の違い

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	<p>シナリオB</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リターナブル化の義務付け <ul style="list-style-type: none"> ・事業者に「飲料容器のリターナブル化（統一化）」を義務付け ●行政による分別収集・リユース <ul style="list-style-type: none"> ・使用済みの飲料容器は分別収集・リユース ・排出時、行政に収集等の費用支払い 	<p>シナリオA</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主的なリターナブル化 <ul style="list-style-type: none"> ・市民と事業者の協力による自主的なリターナブル化の取り組み ●事業者による分別収集・リユース <ul style="list-style-type: none"> ・生産・販売事業者は、リユース費用を製品価格に上乗せして販売 ・「デポジット制度」も活用
ごみの量を 減らす	<p>シナリオC</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政による分別収集・リユース <ul style="list-style-type: none"> ・飲料容器（びん・缶・ペットボトル・紙パック等）を徹底分別・リサイクル ・市民の飲料容器は無料で収集 	<p>シナリオD</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業者による分別収集・リユース <ul style="list-style-type: none"> ・飲料容器（びん・缶・ペットボトル・紙パック等）は民間ルートでリサイクル ・生産・販売事業者は、リユース費用を製品価格に上乗せして販売 ・「デポジット制度」も活用



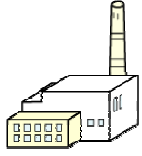
「費用負担のあり方」からみるシナリオ間の違い

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	シナリオB <ul style="list-style-type: none"> ● 「ごみ」も「資源」も有料 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみも資源も行政が有料で収集 ・ごみよりも資源が安い料金設定 	シナリオA <ul style="list-style-type: none"> ● 「ごみ」は有料、「資源」は購入時にリサイクル料金を支払い（EPR） <ul style="list-style-type: none"> ・ごみと資源の費用は市民・事業者が負担 ・資源は生産・販売者がリサイクル/リユース（商品価格に上乗せ）
ごみの量を 減らす	シナリオC <ul style="list-style-type: none"> ● 「資源」は無料 <ul style="list-style-type: none"> ・資源は行政が無料で収集 ◎ 「ごみ」は有料でも無料でも可 <ul style="list-style-type: none"> ・無料の場合は、指導・啓発等を強化 	シナリオD <ul style="list-style-type: none"> ● 「資源」は購入時にリサイクル料金を支払い（EPR） <ul style="list-style-type: none"> ・資源は生産・販売者が回収・リサイクル（費用は商品価格に上乗せ） ◎ 「ごみ」は有料でも無料でも可 <ul style="list-style-type: none"> ・無料の場合は、指導・啓発等を強化



「教育・人材育成・しみん協働」からみるシナリオ間の違い

	行政の役割大	市民・事業者の役割大
ごみ+資源の 総量を 減らす	シナリオB <ul style="list-style-type: none"> ● 発生抑制のためのルールを徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・行政による発生抑制（生活様式や価値観の見直し）の徹底 ● 行政主体の地域協働 <ul style="list-style-type: none"> ・行政による地域協働のための体制強化（推進員制度等） 	シナリオA <ul style="list-style-type: none"> ● 発生抑制のための人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者等の協働で、発生抑制（生活様式や価値観の見直し）を自主的に取り組める人材の育成 ● 「しみん」主体の地域協働 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・行政等の協力体制で地域での取組を展開
ごみの量を 減らす	シナリオC <ul style="list-style-type: none"> ● 分別ルールの徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・行政によるリサイクル推進のルールの周知・徹底 ● 行政主体の地域協働 <ul style="list-style-type: none"> ・行政による地域協働のための体制強化（推進員制度等） 	シナリオD <ul style="list-style-type: none"> ● 分別徹底のための人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者等の協働で、リサイクル推進を自主的に取り組む人材育成 ● 「しみん」主体の地域協働 <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・行政等の協力体制で地域での取組を展開



シナリオ選択後に検討が必要なテーマ



- シナリオを選択した後に、そのシナリオをより望ましいものにするための検討を行います。その際には、次に示す2つのテーマについても検討を行います。

1. 焼却処理のあり方

- 現在の4つのシナリオでは、可燃ごみの処理方法として、
(可燃ごみ) → **焼却施設** → (灰) → **灰溶融施設** → (スラグ) → 建材利用
を共通に設定しています。
- ですが、可燃ごみの処理方法としては、
その1 (可燃ごみ) → **ガス化溶融施設** → (スラグ) → 建材利用
その2 (可燃ごみ) → **焼却施設** → (灰) → **埋立処分場**
という方法もあります。
- 現在の設定と「その1」の方法では、「溶融施設」を導入することで、埋立量を減らすことをねらいとしています。
- 一方、「その2」では、技術に頼らず、ごみの減量や分別徹底等により埋立量を減らそうとするものです。
- これらの処理方法の内、どの処理方法を選択するかによって、費用・環境負荷・排出時の取組等が異なります。

2. ごみ有料化の是非（シナリオCまたはDが選択された場合）

- シナリオC、シナリオDでは、「分別を徹底し、リサイクルを推進すること」に重きを置いています。
- ごみを有料とすることは、「分別徹底」に効果があると考えられます。一方、有料化しない場合には、これまで以上に「分別のチェック」や「指導体制の強化」が必要となります。